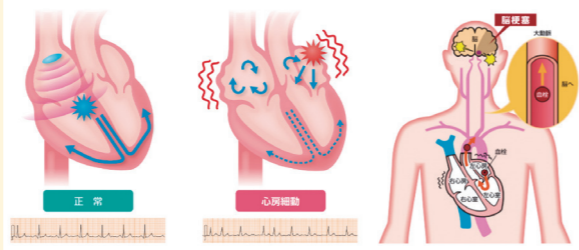


『左心耳閉鎖術』の治療について

[図1]

皆様こんにちは。岐阜ハートセンター循環器内科部長の志村徹郎と申します。当院では主に構造的疾患(弁膜症など)に対するカテーテル治療を担当させていただいております。また、心房細動に対する血液サラサラ薬の減量と脳梗塞を予防する経カテーテル的左心耳閉鎖術も担当させていただいております。この治療は、心房細動を有する患者様が対象となっております。心房細動とは脈と脈の間隔が不規則になる不整脈で、脳梗塞の原因となります[図1]。



そのため、脳梗塞を予防するために血液をサラサラにする薬(抗凝固薬と呼ばれるワルファリンやDOAC)を飲む必要があります。しかし、高齢な患者様は出血しやすく、**血液サラサラ薬を飲まないといけないが飲めないというジレンマ**を抱えることがあります。このような患者様に抗凝固薬を止めながらも脳梗塞を予防する治療として登場したのが経カテーテル的左心耳閉鎖術です。全身麻酔の治療ですが、カテーテルというストロー状の管を太ももの付け根に入れて、脳梗塞の原因となる場所にキャップをして、埋めてしまいます。治療時間は1時間程度で安全に行えます。その後、血液サラサラ薬を止めることで出血することもなくなります。この治療を行うことで、治療を行わなかった方と比較して寿命が伸びたという報告もあり、現在、国内外で爆発的にその治療件数が増えております。心房細動を有する方で脳梗塞・出血が心配な方は是非一度お問い合わせください。

外来担当医表

令和7年4月～

午前診療	診療時間…8:30～12:00(受付時間…8:30～11:30)					土曜日 8:30～12:00
	月	火	水	木	金	土
第1診(初診)	(初診)循環器内科 松尾	(初診)循環器内科 大久保 宗則	(初診)循環器内科 松尾	(初診)循環器内科 川瀬 ※5	(初診)循環器内科 初診担当医	(初診)循環器内科 担当医
第2診	循環器内科 谷垣	循環器内科 石原	循環器内科 成瀬	循環器内科 谷垣	循環器内科 成瀬	—
第3診	—	循環器内科 志村	循環器内科 志村	(再診)循環器内科 松尾 ※1	—	—
第4診	循環器内科(不整脈) 三宅	循環器内科(不整脈) 三宅	循環器内科(不整脈) 三宅	循環器内科(不整脈) 三宅	循環器内科(不整脈) 三宅 ※3	—
第5診	心臓血管外科 小山/外科医師	心臓血管外科 小山/外科医師	心臓血管外科 小山	循環器内科(末梢血管) 菊地(非常勤)	心臓血管外科 大川/小山 ※4	—
第6診	—	—	あしの診療・静脈センター長 富田 ※5	あしの診療・静脈センター長 富田 ※5	あしの診療・静脈センター長 富田 ※5	—

午後診療	診療時間…14:00～17:00(受付時間…14:00～16:00)					土
	月	火	水	木	金	土
第1診	循環器内科 松尾	循環器内科 大久保 宗則	循環器内科 松尾	循環器内科 川瀬 ※5	心不全センター長 中川	—
第2診(初診)	(初診)循環器内科 谷垣	(初診)循環器内科 川瀬 ※5	(初診)循環器内科 大久保 雄右	(初診)循環器内科 大久保 宗則 ※2	(初診)循環器内科 石原	—
第3診	—	—	—	心不全センター長 中川	—	—
第4診	ペースメーカー外来 14:00～15:30	ペースメーカー外来 14:00～15:30	—	—	—	—
第5診	心臓血管外科 尾添	心臓血管外科 稲垣	—	—	—	—
第6診	循環器内科 樋上(非常勤)	—	—	あしの診療・静脈センター長 富田 ※5	—	—

(※1)第1,3のみ (※2)第2:中川医師 (※3)第2,4:祖父江医師 (※4)大川医師:第1金曜のみ、小山医師:第1金曜以外 (※5)外国語(English)対応可

診療時間	平日	午前	8:30～12:00(受付 8:30～11:30)	土曜日	8:30～12:00(受付8:30～11:30)
		午後	14:00～17:00(受付14:00～16:00)		
休診日	土曜日の午後、日曜日、祝日、年末年始(2025年12月30日～2026年1月4日)				

カテーテル治療・心臓病手術専門病院
 **岐阜ハートセンター**
 GIFU HEART CENTER

〒500-8384 岐阜県岐阜市藪田南4-14-4
 TEL 058-277-2277
 FAX 058-277-3377
 URL <https://gifu-heart-center.jp/>



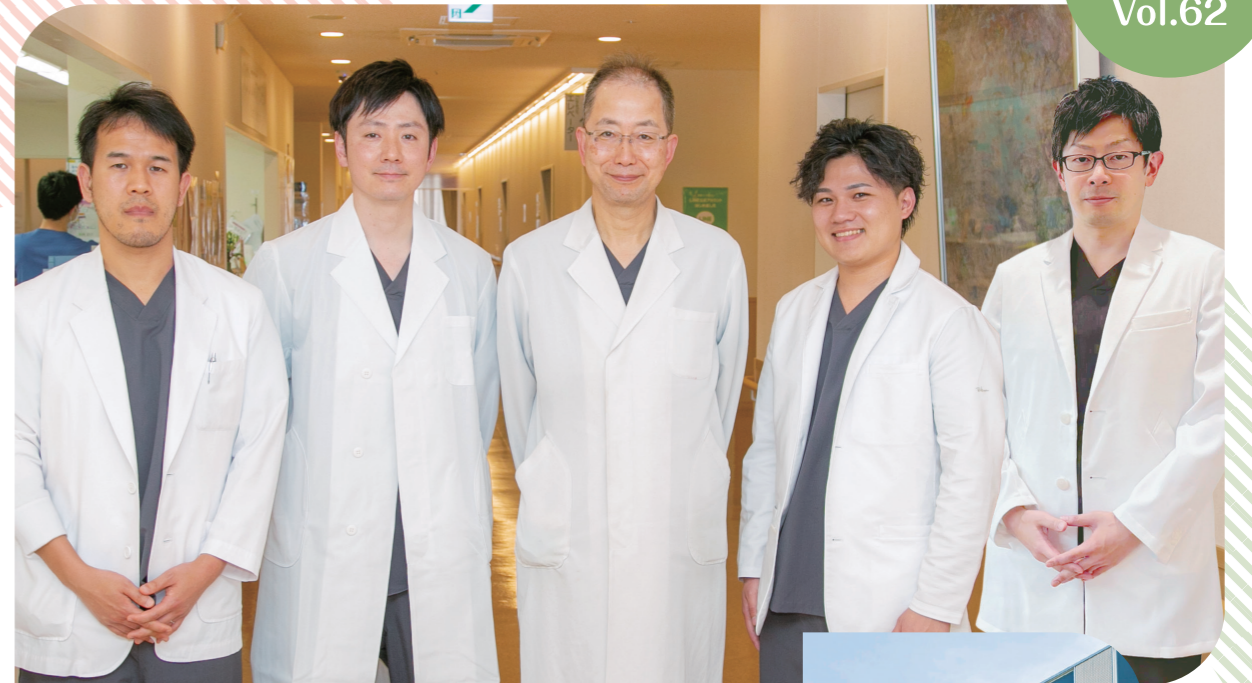
岐阜ハートセンターの理念は“SAFETY” “SPIRIT” “SPECIALITY AND SCIENCE” “SYSTEM”の4つのSです
安全 ところ 専門技術 体制

岐 阜
だ せ へ
よ り た
ー と

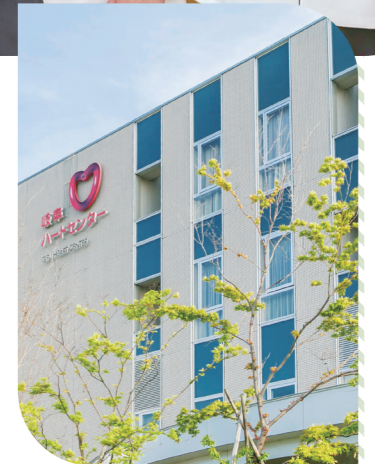
[特集]

VOICE OF NEW FACE
 新たな仲間とともに、
 さらなる高みを目指す

2025
春号
Vol.62



[P.4]
 『左心耳閉鎖術』の治療について
 外来担当医表(令和7年4月～)



 岐阜ハートセンター

VOICE OF NEW FACE 新たな仲間とともに、 さらなる高みを目指す

近年、循環器治療における「チーム医療」の重要性が高まる中、今年も岐阜ハートセンターにはさらなるチーム力アップにつながる、活力あふれた若い人材4名が仲間入りしました。今回は、新たにメンバーに加わったフレッシュな先生方に、今後の抱負を語っていただきました。

培ってきた経験や技術をいかして 成長や夢の実現へ大きく飛躍を

松尾／今年度で17年目を迎えた岐阜ハートセンターに、4名の有望な若手が加わりました。これからの担う若い世代の先生方は、きっと岐阜ハートセンターの新たな魅力になると期待しています。それでは、お1人ずつ自己紹介をお願いします。



石原／私はこれまで、日本医科大学付属病院の集中治療室に3年間、在籍していました。この集中治療室は、日本ではまだ数少ない集中治療専門医が専従する体制で、私はその中でリーダーを務めた経験があります。そのため、どんなに重い症状でも冷静に対処できることが強みです。一方で、手技の経験件数はまだまだ少なく、幅広い手技を経験できる新たな場所を探していたところ、岐阜ハートセンターに出会うことができました。岐阜ハートセンターは、やる気次第でどの分野にも挑戦させてもらえる風土があり、私の希望とマッチしていると感じています。自身の経験をいかしながら、この地域の医療に貢献していきたいです。

大久保／前職は、自治医科大学付属病院さいたま医療センターに勤務し、主に虚血性心疾患を専門としていました。2024年12月に第一子を授かり、より子育てと医療に集中できる環境を求めて、妻の出身地である岐阜県で勤務することを決めました。私は日頃から「一期一会」を大切にしており、妻の故郷である岐阜県、そして岐阜ハートセンターとのかけがえのない出会いを非常にうれしく感じています。同様に、これから担当する患者様

とのご縁も大切に、使命感を持って1人でも多くの循環器疾患を持つ患者様と寄り添っていきたくと考えています。今後は、専門としてきた分野に限らず幅広い領域の治療を学んでいきたいと思っています。

長谷川／私は、名古屋徳洲会総合病院で緊急疾患やさまざまなカテーテル治療に携わり、経験や知識を培ってきました。今年で医師になって11年目を迎え、これからのような医師を目指していきたいか考えた際、今後は不整脈や弁膜症の治療に力を入れていきたいと思い、さらなる飛躍を目指して岐阜ハートセンターへの就職を選択しました。岐阜ハートセンターは手がけてきた症例数も多く、治療後も治療の見直しやよりよい治療法の追求などをしっかりと議論している点に、魅力を感じました。また、私はこれまで論文を執筆する機会が少なかったため、学術面に長けた先生方が多い岐阜ハートセンターで学びを得たいと考えています。



成瀬／私は、岐阜大学医学部附属病院 循環器内科に約10年間勤務し、虚血性心疾患のカテーテル治療や心エコー図検査を専門にしていました。2022年には、岐阜大学でTAVI治療の立ち上げにも携わっています。そうした知識や技術をもとに、さらに経皮的左心耳閉鎖術やマイトラクリップなど、構造的な心疾患のカテーテル治療やその心エコー図診断を勉強するために、岐阜ハートセンターに就職しました。これから、1人1人の患者様に対する診療を大切に、岐阜県の医療のために少しでも力になればと考えています。また、学生や研修医教育にも携わってきた経験をいかし、県内の循環器内科医の増加につながる活動をしていきたいと思っています。



医師の紹介

院長
まつ お ひとし
松尾 仁司先生

循環器内科 医長
なる せ げん き
成瀬 元気先生

循環器内科 医師
いし ほん かける
石原 翔先生

循環器内科 医師
おおく ぼ ゆう すけ
大久保 雄右先生

循環器内科 医師
は せ がわ しん
長谷川 新先生

仕事と家庭を両立しながら 岐阜の地域医療に貢献

松尾／近年は医師の働き方改革が進められており、休息やプライベートを充実させることは、自身の成長や患者様の目線に立った診療につながる重要な要素だと感じています。皆さんは、休日をどのように過ごされていますか。また、岐阜に来て感じていることがあれば教えてください。

石原／私も、大久保先生と同じく生後6ヶ月の娘がおり、妻と3人で岐阜に来ました。先日、親子で養老の滝に出かけたのですが、今まで経験したことのないゆったりとした時間を過ごすことができました。岐阜は自然が身近な一方で、店舗も多く、何より駐車場が広いので、子育てしやすい街だと思います。これからできるだけ岐阜の魅力を感じられる場所に行き、充実した時間を過ごしたいです。



大久保／私はダイビングや水上バイクなどのマリンスポーツが好きで、船舶免許も持っています。また、学生時代はテニス部で部長を務め、今でも時々コートで汗を流しています。岐阜は、妻の故郷であるだけでなく、従姉が住んでいたため、幼い頃から馴染みのある場所。昔から従姉や親戚が話す岐阜弁を「やさしい雰囲気の方言だな」と思っていて、岐阜の人と話していると、どこか温かさを感じます。

長谷川／現在は春日井市から通勤していますが、私はもともと岐阜県可児市の出身。三宅副院長とは同郷で、

ご縁を感じています。私には3歳と1歳の息子がいますが、今まではなかなか家庭で過ごす時間が取れず、日々変化していく子どもの成長を見守りたいと思うようになりました。その思いを松尾院長に伝えたところ、快く尊重していただき、最近の休日は子どもと過ごす時間を大切にしています。

成瀬／最近、子どもと一緒に頭を抱えながら勉強を教えることが、休日の日課になっています。私は岐阜に長く勤めていますが、岐阜県には80代や90代でも仕事を継続するなど、元気な高齢者が特に多い印象です。岐阜県の方々の健康寿命を少しでも延ばすことが、私たち循環器内科医の重要な使命の1つだと考えています。メディカルスタッフとの連携を大切に、診療にあたっていきたいです。

松尾／岐阜ハートセンターは、診療実績を重ねることで信頼を築き、紹介による来院や遠方からの患者様が増えています。これは、1人1人のスタッフが私たちが大切にしてきた「目の前の患者様を大切に」という思いを具現化してきたからこそその結果だと思います。これからも患者様に「ここに来てよかった」と思ってもらえるよう、人材育成を強化していきます。スタッフが協力し合って成長できる土壌、さらなる活躍ができる環境をつくっていきたく思いますので、皆さんもぜひそれぞれの力を存分に発揮し、夢を実現してください。

